室戸市保育所及び学校適正規模・適正配置実施計画（案）地域説明会での意見・質問と回答内容（抜粋）

1　日時：令和５年７月６日（木）　１８：３０

2　場所：佐喜浜生活改善センター

3　市出席者：百田教育長・山本教育次長兼学校教育課長・村上課長補佐・高崎班長

4　参加者数：８人

No.	発言内容	回答内容
1	○前回の説明会の議事録が市民に対して開示されていないのは問題があるのではないか。	○議事録を開示してこなかったのは反省すべきである。
2	○アンケート調査が、学校として統合するということで、小中一貫校として統合するという風に考えて回答した方もおられるのではないか。この回答から統合の意見が多いというのはおかしいのではないか。	○アンケートの選択肢の中に地域の学校を残してほしいという項目も設けている。また、この時点では、統合を行うというようなところは設けておらず、あくまで保護者のご意見を聞くというようなところで行っている。
3	○あくまでこれは（統廃合が）実施されることが決まっての説明会なのか。実施計画として実施が前提になっていること自体大変驚きである。	○令和2年度から検討委員会、アンケートの実施、基本計画を踏まえた地域での説明会を開催してきて3年が経過する中で、一定方向性を出す時期に来ているという判断をしている。
4	○反対している方々の意見については、統合した学校のあり方を考えるうえで、今後の課題として考えると説明があったが、課題として考えるのは、統合を決定する前ではないか。	○統廃合について、様々な意見や課題は、こうした地域説明会の中から出てくると考えており、そうしたご意見などについて、統合中学校のあり方検討委員会を立ち上げ、検討していく。
5	○地震津波が起きたときに、道路が寸断されると、子ども達に何週間も会えない状況があるかもしれない。この課題を検討せずに統合を決定して良いのか。	○災害対策は行う。具体的にこういう場合にどうするかは検討委員会で皆様のご意見を聞きながら形をつくっていく。
6	○地域を活性化して移住者を呼べる施策を行っている中で、統合に向けて検討委員会を立ち上げるよりも、地域と学校の関わりなどをもう一度時間をかけて検討していただきたい。地域から学校がなくなると、佐喜浜の衰退に拍車がかかる。	○今まであった学校がなくなると地域が寂しくなるのは否定できない。統合中学校になったときに教育活動の中で子どもたちが地域に入っていくという取り組みを創っていかなければならないと考えている。令和3年、4年度で年100人以上の方が移住されているが、人口減、子どもも減ってきている。こういう状況になっていく中で、地域に学校を残したいと思いはみんなにあるが、学校のあり方も変わっていくものと感じている。変わるタイミングとして、新しい中学校ができて、4つの中学校が対等の立場で新しい中学校を創っていく形が望ましいという判断をしている。
7	○令和10年度に1校に統合するという方向性はどの時点で決まるのか。	○教育委員会と総合教育会議の協議の中で承認されれば方向性は確定する。その後は学校設置管理条例が議会で承認されると決定する。方向性が決まるのは、今年の秋ぐらいとなる。
8	○先に室戸中学校をつくって、後から行きたいという中学校を統合してもいいのでは。	○検討委員会の段階から最終的には統合もやむを得ないというのはあった。統合のタイミングは、基本計画の令和8年度統合から、施設整備のスケジュールが2年遅れとなっていること、令和10年度の各中学校の生徒数の減少が先ほど示した状況になること、そして4つの中学校が対等の立場で統合する形が判断の1つとなっている。
9	○対等の立場には思えない。通学では、中心地に近い方が優位で、佐喜浜は、羽根、吉良川よりも大雨が降ったら、道路が通れなくなる。	○学校までの距離は、地域的な差はどうしても出てくる。
	○検討委員会委員で佐喜浜の方もいるのか。委員は何人か。	○各地域のPTAの会長さんや、保育所の保護者会長など、地域的にはまんべんなく構成メンバーとして入っていただいている。委員数は24名。
10	○学校あり方検討委員会も同じメンバーか。	○現時点で、具体的には決めていないが、各地域から入っていただく形を考えている。
11	○各地域の意見を共有したほうが良い。学校あり方検討委員会にいくまでに、計画策定をしっかり順番を経ながら、やっていただきたい。	○教育委員会の方向性は決めているが、その中で地域で出された意見をどういう形で対応していくかというところは考えていく。
12	○小学校も決まっているものかわからない。	○小学校については、元小学校以外は行わないと計画では明記している。
13	○佐喜浜が孤立したりするそうした安全面をかっちり話し合いをしたうえで、統合するのであればわかるが、統合が決まっていて、安全面についてはこれから話し合うのはおかしいのでは。道路が通れなくなった場合、迎えに行けない。親として心配じゃないですか。	○地震の時もそうですが、その場合は、学校が責任をもって子供を預かる。子どもをすぐに迎えに行けないところはやはり心配であると思うが、統合中学校になったらそういう状況は出てくる。

No.	発言内容	回答内容
14	○どうしても統合したい事情が市にあるのか。教育費を削減したいのか。	○お金の面は考えていない。
15	○佐喜浜で高台に移転させた場合、経費の試算を出してほしいと前回お願いした。佐喜浜で受け入れられる経費があれば高台に移転させたほうが良いのではないか。	○統合を考えた要因の一つに学校規模の話をした。そこが大きいところがある。
16	○小規模でより充実した教育を図る方法はないか。	○小規模校でも頑張っている学校がほとんどで、地域と連携してやっており、そこが小規模校の良さでもある。その上で児童数が減少していく中で、私たちが判断したのは一定規模の学校で、バランスの取れた教職員の配置の中で子どもたちに教育を受けてもらいたい、そこがある。
17	○小規模で特色のある教育をして、移住者が増えて地域がある。そういったことを検討しているのか、統合ありきで検討しているのではないか。	○令和２年度から検討委員会を立ち上げ、中学校については統合が必要な時期であると判断している。
18	○佐喜浜だけは移転せずに、小中一貫校みたいな形はいけないか。	○小中一貫校になっても中学生の数は変わらない。一定規模の教育環境を室戸の子ども達、中学生に与えてやらないといけない。
19	○数で教育環境を（判断するのか）	○生徒数は学校に影響してくる。１学級減れば教員が３人減る。
20	○室戸中学校に統合して、大人数の先生がいるのと、３人減っても少人数の方が先生の目の届くのではないか。	○生徒数も一定の集団があり、教員も一定の集団がある、そういった関係が必要と判断している。
21	○その子が望むのであれば。人数は関係ない。	○佐喜浜地区で例えば中学生が１人になっても残しておくという考えなのか？
22	○各中学校が特色のある教育をして生徒自身が選べるという選択肢を撮れば、各中学校の生徒数が平準化されるのではないか。先生たちも切磋琢磨にもつながるのではないか。これは、１案であり、意見を求めているのではない。	○無回答
23	○１つの市に中学校が一つしかない市町村はあるか。	○今のところ、土佐清水市、土佐市である。
24	○１番知見を持っているのは誰か。	○統廃合について最終的に設置者は市長になる。ただ、検討委員会の報告を踏まえ、教育委員会が、４名の教育委員さんのご意見を聞きながら、実施案を作っている。
25	○市長も変わるじゃないか。この統廃合について誰が着手し、その後を見守ってこれなら大丈夫かという責任者はいるのか。	○教育長も任期があり、変わったとしても今の方針は引き継がれる。
26	○望ましい形が室小・室中になるわけですよね。その室小・室中の状態がすごくいい状態なのか。	○規模で言えば室小室中になるが、小規模校がいけないということでは無い。こうした活発なご意見が出るのも日頃からいい学校運営になっていると感じる。ただ、あまりにも生徒数が減ってくる中で、学校のあり方もどこかで変わらざるを得ないと思う。そのタイミングが令和１０年度のタイミングと考えている。
27	○そのタイミングとは考えられない。例えば佐喜浜に小規模中学校として残し、いじめなど行き場のない子どもたちのために残すのはどうか。	○選択肢がなくなることは非常に難しい問題だと思うが、どの地域の学校を残すのか逆に難しいと考えている。佐喜浜を見ると令和１０年度には各学年１０人未満になる、その先についても減少していくという見込みになっている。
28	○課長は佐喜浜中学校がやってきたいろんな行事があるかご存じか。	○防災対策課長の時には、防災訓練に参加させていただき、地域と一緒になってやっていることは感じている。

No.	発言内容	回答内容
29	○保育小学校併せても２５世帯くらいであり、なぜもっと話をしないんですか。なんで情報も開示されないのですか。 ○高知で追手前小学校と新堀小学校が統合するときも何年も話し合われてきた。（室戸は）２回目でしょう。もっと地域の人に寄り添って考えたうえで話をしてもらいたい。もう決まったからそっちの方向で行ってくださいと言われてもそうですかにはならない。	○無回答
30	○全然地域のことが分かっていない。室戸と比較したときに室戸の方がすぐれていると言えるのか。統合する価値があるのか。	○優れているとは言えない。各学校がそれぞれ良さを出してやっている。
31	○佐喜浜の子ども達が通学に１年間で１００時間以上割かなくてはならない。その通学で無駄になる１００時間以上のメリットが室戸中学校にあるのか。	○統合中学校になったら、どうしてもそういうところは出てくる。その上で室戸の中学生にとってより良い統合中学校を創っていこうという考えである。
32	○大人が思ういい環境と当事者の子どもが考えるいい学校と同じなんですかね。	○こうした問題は、今ここに関わっている大人の責任で決めていかなければならないと考えている。
33	○そうだとしたら、親の責任でちゃんと議論をしたいです。室戸高校もジオパークの関係で、グローバルのネットワークを使ってグローバル教育をした。そういう教育で、県外からここに入りたい、人口流出の防止にもつながる移住者も獲得できる可能性もある。どうして親と一緒に検討しないのか。視点が増えれば、教育委員会や市長が気が付かない部分も分かってくるのではないか。 もっと時間をかけて、その意見を警戒しないでオープンに拾い上げてほしい。	○意見交換をしたいという要請があれば受けていく。ぜひ議論させていただきたい。
34	○秋までに必ず決めなければならないのか。	○令和２年度から検討委員会を立ち上げて、その経緯を踏まえてその方向性を決める時期に来ているというところはある。
35	○高知市内は浸水地域でも高台移転の話にならない。津波が来るき高台にせないかんというのもどうかと思う。	○望ましい学校の規模と南海トラフ地震対策の２つの面で統廃合を考えている。佐喜浜中学校は、津波高は他の中学校と比べてそんなに高くない。ただ、規模で言ったら令和１０年に全学年が１０人未満になる、そういった状況を踏まえている。
36	○令和２年から話が始まっているのであれば、なんで今回が２回目でどうして今まで時間があったのにもっと話をしてくれなかったのか。安全性の面でもそのうち考えるでは納得は出来ない。	○教育委員さんにも様々なご意見があるが、教育委員会として１つの方向性を出さなくてはならない。
37	○何をもって進めていくのか。今日県庁に言ってきたが、市長も議長も何回も地域の人の声を聴いてという会話が出ていた。今日のアンケート結果を持ち帰って話し合いをして、また日を改めて話し合いをしませんかといってくれたら、ありがたい話である。	○無回答
38	○今日の議論はどういう風に市長に伝わるのか。	○それぞれの地区のご意見を聞いたうえで報告はする。
39	○羽根・吉良川は賛成しているのか。	○賛成の方も反対の方もいる。
40	○どちらが多いのか。今アンケートを取って各地域の賛成か反対かを我々に見せたらどうか。	○無回答
41	○室戸中学校を先に高台に上げて、他の中学校は今後検討していく出皆納得しているのに、 １０年３月と期限を切ってきたことに対して不信感がある。懸念をする、心配をするそういう部分ができていないのに、先に火を切って方向性を決めてというのが不信を招いている。	○段階的に統合するというところは皆さん納得されているのか。最終的に統合することは。そのタイミングを詰めていく時期である。
42	○今後こういうことが懸念されますよというのが段階的の中にあって、それを解消していってもらいつつやっぱり統合せないかんねという順番になっていくと思う。 ○タイミングといわれるが、タイミングをここまでぎりぎり先に延ばして中身のある議論をしてこなかったのは、あなた方ですよ。	○日を変えてやりましょう。

No.	発言内容	回答内容
43	○子どもの教育に対して、親は真剣である。我々は真剣に教育を議論したい。そこで納得して、お互い議論して、納得する。それだけの学校が室戸にできるのであればぜひそっちにやりたい。	○議論が少ないという指摘は真摯に受け止める。また議論の場を設ける。
44	○室戸高校の施設を使うことは模索してきたか。中高一貫校というのも魅力ある学校づくりを室戸でしていこうとしたときに必要。将来に向けて中高一貫校の可能性もあっても良いのではないか。	○高校の施設の供用については、協議をしていく中で、どうしても難しいという判断に至った。
45	○次の会も、地域の人にも入ってもらいたい。	○常会であったり、保護者向けに周知する方法は考える。
46	○その会は、やっぱり、方向性は変わりませんという教育長のご意見がそのまま採用して議論するのか。なぜ秋までに期限を切らなければならないのか。	○今日のご意見を聞いて、強い思いというのはわかった。また、議論が足りていないのも感じた。そこは議論の場を持たせてもらう。方向性とかこの議論をもってどうなるのかは一度整理させてほしい。
	○今後の教育のあり方なども含めて前向きな議論をしたい。（方向性が）決まったものなのか、変えれないのかを聞いている。	
	○何の理由もなく、賛成反対を述べているのではなく、もっと議論をするべきじゃないか。こんな簡単に決めていいことではない。	